

【代表的な研究テーマ】

□ 高齢社会におけるリビングラボの実践

□ シニア向け製品・サービスのユーザ中心設計と評価

Keyword：高齢社会、高齢者対応、リビングラボ、アクティブシニア

研究の概要

須藤研究室では、「静岡アクティブシニアラボ」を開設しています。

アクティブシニアラボは、製品・サービスの開発過程に対して企画段階から評価まで一般的な消費者・市民であるシニアユーザが積極的に参加し、消費者・市民・開発側・研究者が協働したユーザ中心設計を実施するLiving Lab（リビングラボ）です。

平成29年度末時点で、100人弱のアクティブな静岡地域のシニアメンバーの方々にメンバー登録していただいています。

当研究室では、リビング・ラボの構成員と共に、

- ・高齢者のみなさんと一緒に新しいシニア向け製品・サービスの企画
- ・シニア向け製品・サービスのよりリアルな日常場面で評価研究
- ・加齢について基礎的なテーマ（認知、注意等）を研究
- ・シニア向けの観光地のデザインの評価

などを実施しています。

静岡アクティブ
シニアラボ 静岡大学



アピールポイント

高齢社会の進展と共に、製品・サービスの開発、公共サービスの立案の際には、利用するシニアユーザの視点が重要になっています。アクティブシニアラボのメンバーと共に、シニア視点で、企画、開発、評価を実施し、誰にとっても使いやすい製品・サービスを目指しませんか？

研究代表者（須藤）は、これまでBtoB系メーカ様、情報通信系メーカ様との共同研究実績がございます。また、学生やシニアの方々と実際に地域観光地等のフィールドを訪問し、地域活性化に繋がる社会の高齢者対応に関わる活動を進めています。高齢者対応にご興味のある企業様、公共団体様のご連絡をお待ちしております。

・関連書籍等：

静岡アクティブシニアラボ Webサイト <https://sites.google.com/view/shizuokaactlab>

原田悦子・須藤智（2020年出版予定） 超高齢社会で考えるユニバーサルデザイン—つくば型リビングラボの挑戦— ちとせプレス



須藤 智

学術院融合・グローバル領域
主・大学教育センター
副・地域創造学環
准教授

■ 相談に応じられる関連分野

- ・高齢者向け製品、サービスの開発・評価研究
- ・シニア視点の地域活性化・・・観光地のシニア対応、高齢者サービスのシニア対応

■ その他の社会連携活動

- ・企業におけるユーザ中心設計に関わる研修会での講演
- ・行政における高齢者対応に関わる講演
- ・静岡市街地の活性化に関わる社会連携（I Loveしずおか協議会との連携）